

The cover features a central image of an acoustic guitar's soundhole and neck, set against a dark background with a spotlight effect. The Marshall logo is at the top, and the model name 'AS100D' is prominently displayed in the center, flanked by 'Acoustic' and 'Soloist'.

Marshall

AMPLIFICATION

Acoustic

AS100D

Soloist

OWNERS MANUAL

Marshall



From Jim Marshall

AS100D、アコースティック・ソロイスト・コンポをお買い上げいただきありがとうございます。

Marshall は長年の間に多くの優れた商品を世に送り出してきましたが、あくまでも高い品質を追い求める気持ちは1962年に Marshall Amplification を創設して以来一貫して変わっていません。

アコースティック・ソロイストの場合は、なるべくナチュラルな音を追究することに多くの時間と研究を重ねてきました。設計にたずさわる人間の全員がギタリストでもあり、プレイヤーのニーズを完全に理解した彼らの専門技術がすべての商品に活かされています。

AS100D の登場は、Marshall のアンプ史における画期的な出来事です。これはデジタル・エフェクトを搭載した初のモデルであり、非常に高い音質を備えています。また、長期にわたる使用に耐えるべく、Marshall の証明である高い基準に従って設計、製造されています。

AS100D をご使用いただく前に本書をよく読み、いつでも参照できるよう保管しておいてください。

皆さんの音楽活動のご成功をお祈りします。Marshall アコースティック・ソロイスト・コンポを末永くご愛用いただけると確信しています。

はじめに

AS100D は総合的な機能を備え、多様なアコースティック楽器のために特に設計された100ワット・コンポ・アンプです。ピエゾ/マグネティック・ピックアップなどトランスデューサー付き楽器のためのチャンネルに加え、ボーカルまたは楽器用のマイクロフォンのためのチャンネルがあり、4チャンネルで高い柔軟性を実現しています。2×50ワットのステレオ構成により、ステージでは非常にクリアなサウンドのパフォーマンスを実現します。また、バランス・ラインアウト端子により、大きめのコンサート会場では、外部のPAシステムにダイレクトに接続することが可能です。

リバーブ、ディレイ、コーラスの内蔵デジタル・エフェクトによって、まったく新たな次元のサウンドを実現することができます。ほかにもエフェクトを加えることができるように、パラレル・エフェクト・ループを搭載しました。

アコースティック楽器の増幅に際して最も頻繁に起こる問題はハウリングです。これを防止するために、AS100Dには各チャンネルのフェーズ・スイッチと、周波数を制御し、チャンネル1と2についてはデプスを選択できるノッチ・フィルターなど、「アンチフィードバック」コントロールを装備しました。チャンネル4は、CD/MDプレイヤー、カセット・プレイヤー、ドラムマシンに適しています。

クリアで繊細なパフォーマンスを実現するため、AS100Dには8インチ・スピーカーを2基と、ハイファイ・ポリマー・ドーム・ツイーター [高音用スピーカー] 2基を搭載。また、内部リミッターにより、ディストーションを防止しながら50ワットの出力を最大限まで押し上げることができます。

コンパクトでポータブル、柔軟性の高いAS100Dは、最高品質のパフォーマンスとナチュラルな音の再生を求めるアコースティック・プレイヤーに最適なアンプです。

AS100D フロントパネル

AS100Dは、アコースティック楽器から出る最高のサウンドをとらえるため、2つの独立したプリアンプを提供しています。アコースティック楽器専用のチャンネルが2つあるので、一般に用いられている2種類のピックアップ（ピエゾ/マグネティックまたはマイクロフォン）をモノ・ジャック2つまたはステレオ・ジャックでミックスすることができます。

チャンネル1——アコースティック楽器

1 入力ジャック

ピエゾ・トランスデューサーまたはマグネティック・ピックアップのノーマル・モノ・ジャックに接続したコードを差し込みます。

ギターのコードを差し込むと、チャンネル1につながります。

これは、ピックアップの異なるアコースティック楽器（マグネティックおよびトランスデューサー）を1本のステレオ・ケーブルで入力するために特に設計されたステレオ入力でもあります。このモードでは、リンク・チャンネル1・スイッチを選択すると、ステレオ・ジャックのリングから受信した信号は自動的にチャンネル2へ送られます。これにより、2種類のピックアップから受信するプリアンプ信号を別々に制御することができます。

2 フェーズ・スイッチ

信号のフェーズを切り替えることによって、楽器とスピーカーのフェーズの一致によって起こるハウリングを削減できます。

演奏に使用する設定で事前にテストしてください。

3 ゲイン・スイッチ

入力のゲインを増加させます。出力レベルが非常に低いピックアップの信号を増幅するのに有効です。

4 ボリューム

チャンネル1の音量を調節します。

5 ベース

低音を調節します。ベースを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

6 パラメトリック・ミッド・コントロール

中音を削減したり、増幅したりします。ミッド周波数コントロール〈7〉と連動して、楽器の音域の中でも特に重要な中音域の可能性を最大限に広げます。

7 ミッド周波数コントロール

ミッド・コントロール〈6〉の周波数を調節します。

8 トレブル

高音を調節します。トレブルを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

チャンネル2——アコースティック楽器
およびマイクロフォン

9 楽器入力

モノ・ジャック入力。ギターのコードを差し込むと、チャンネル2だけにつながります。

10 マイクロフォン入力

マイクロフォンをチャンネル2に接続するためのXLR入力です。

11 リンク・チャンネル1・スイッチ

(ステレオ・ジャック1つの楽器を接続した場合に)チャンネル1のステレオ入力にチャンネル2をリンクします(入力ジャック(1)参照)。ブロック線図を参照してください。

12 コンツアー・スイッチ

中音をあらかじめ定められた割合で削減することにより、チャンネル・イコライザーのコンツアー(曲線)を変化させます。

13 ファントム・スイッチ

コンデンサー・マイクロフォンに電源供給をするためのスイッチです。

14 フェーズ・スイッチ

信号のフェーズを切り替えることによって、楽器とスピーカーのフェーズの一致によって起こるハウリングを削減できます。フェーズを切り替えることによって低周波のハウリングをかなりの程度まで削減できます。

演奏に使用する設定で事前にテストしてください。

15 ボリューム

チャンネル2の音量を調節します。

16 ベース

低音を調節します。ベースを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

17 トレブル

高音を調節します。トレブルを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

チャンネル1 /チャンネル2
アンチフィードバック・セクション

18 “オン” スイッチ

両方のアコースティック楽器チャンネルでアンチフィードバック・フィルター(20&21)を作動します。

19 デプス・スイッチ

両方のノッチ・フィルターのデプスを増加させます。

20 回転式フィードバック・フィルター
(スイープ1)

最もフィードバックを起こしやすい周波数帯域(50Hz~250Hz)の中で、特定の周波数を削減します。

21 回転式フィードバック・フィルター
(スイープ2)

より広範囲の周波数帯域(60Hz~650Hz)の中で、2番目にフィードバックを起こしやすい周波数を削減します。

アドバイス： フィードバックの原因となる周波数を選択し、排除するために、フィードバックが起こり始める点を特定してから、それが消えるまで周波数のコントロールを動かします。つぎに、フィードバックが再度起こるまでゲインのレベルを上げ、また周波数を調節してから、レベルを少し戻します。

チャンネル1 /チャンネル2
エフェクト・スイッチ

22 内蔵エフェクト・スイッチ

アコースティック楽器のチャンネルの内蔵ステレオ・デジタル・エフェクト・セクションを作動します。

23 外部エフェクト・スイッチ

アコースティック楽器のチャンネルの外部エフェクト・ループを作動します。

チャンネル3——マイクロフォン・チャンネル

24 マイクロフォン入力

マイクロフォンを接続するためのXLRバランス入力です。ボーカルまたは楽器の入力に適しています。

25 フェーズ・スイッチ

信号のフェーズを切り替えることによって、楽器とスピーカーのフェーズの一致によって起こるハウリングを削減できます。フェーズを切り替えることによって低周波のハウリングをかなりの程度まで削減できます。

26 ファントム・スイッチ

コンデンサー・マイクロフォンのための仮想電力が必要なときにこのスイッチを入れると、電力が15ボルト増加します。

27 ボリューム

チャンネル3の音量を調節します。

28 ベース

低音を調節します。ベースを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

29 トレブル

高音を調節します。トレブルを強くしすぎるとハウリングを起こすことがあるのでご注意ください。最初に中間に設定しておいてそこから調節すると良いでしょう。

30 内蔵エフェクト・ミックス

チャンネル3にかかる内蔵デジタル・エフェクトの量を調節します。

31 外部エフェクト・ミックス

チャンネル3にかかるエフェクト・ループに接続した外部のエフェクト・プロセッサのエフェクトの量を調節します。

チャンネル4——補助チャンネル

32 フォノ入力

CD/MD/カセット・プレイヤー、ドラムマシン、その他伴奏装置に接続する左右のフォノ入力です。このチャンネルはステレオで作動します。

33 ボリューム

補助チャンネルの音量を調節します。

ステレオ・デジタル・エフェクト

34 プログラム選択

16のデジタル・エフェクト・プログラムのうちの1つを選択します。

35 パラメーター調節

プログラム選択(34)で選択したエフェクトのメイン・パラメーターを調節します。メイン・パラメーターは、すべてのリバーブおよびディレイのプログラムについては減少時間で、コーラス、フランジ、ロータリーのプログラムについてはスピードです。

36 エフェクト・レベル

ミックスの中のデジタル・エフェクト信号の量を制御します。

マスター・ボリューム

37 マスター・ボリューム

アンプ全体の音量を調節します。

38 電源スイッチ

アンプの電源をオン/オフします。電源が入っていると、スイッチが点灯します。アンプを移動する前には必ずアンプのスイッチを切り、電源プラグを外してください。

1 電源入力

付属の電源コードを接続してください。

2 フットスイッチ・ジャック

内蔵エフェクトおよび外部エフェクト・プロセッサの切り替えをするための付属のフットスイッチを接続します。

3 エフェクト・センド

外部エフェクト・プロセッサの入力に接続します。

4 エフェクト・レベル

外部エフェクトのリターン・レベルを調節します。

5 ステレオ・エフェクト・リターン

外部エフェクト・プロセッサの出力に接続します。プロセッサがモノの場合は(フロアペダルなど)、左(モノ)リターンに接続してください。

6 D Iアウト

外部のPAミキサーに接続するためのステレオのダイレクト・バランス出力です。

7 ラインアウト

レコーディングまたはその他の外部機器に接続するためのステレオのダイレクト・アンバランス出力です。

AS100D Technical Specification

Power Output	100W RMS into 4Ω (50W per side)
Potencia de salida	100W RMS sobre 4Ω (50W per side)
Ausgangsleistung	100W RMS an 4Ω (50W per side)
Puissance de sortie	100W RMS sous 4 Ohms (50W per side)
パワー出力	100W RMS / 4Ω 接続
Main Guitar • Input Impedance	1 MΩ
Impedancia de entrada principal de guitarra	1 MΩ
Guitar • Input Eingangsimpedanz	1 MΩ
Impédance d'entrée	1 MΩ
メインギター・入力インピーダンス	1 MΩ
Line Output • Level	-10dBV * see Note 1
Nivel de salida	-10dBV * ver nota 1
Line Output • Ausgangspegel	-10dBV * siehe Hinweis 1
Niveau de sortie	-10dBV * voir note 1
ライン出力・レベル	-10dBV * 注1 参照
FX Send • Level	-10dBV, +4dBV * see Note 2
Nivel de envío FX	-10dBV, +4dBV * ver nota 2
FX Send • Ausgangspegel	-10dBV, +4dBV * siehe Hinweis 2
Niveau de sortie d'effet	-10dBV, +4dBV * voir note 2
F X センド・レベル	-10dBV, +4dBV * 注2 参照
Microphone • Input Impedance	1 kΩ
Microphone • Impedancia	1 kΩ
Microphone • Input Eingangsimpedanz	1 kΩ
Microphone • Impédance d'entrée	1 kΩ
マイク・入力インピーダンス	1 kΩ
Weight	21kg
Peso	21kg
Gewicht	21kg
Poids	21kg
重量	21kg
Size (mm)	600 x 540 x 261
Tamaño (mm)	600 x 540 x 261
Maße (mm)	600 x 540 x 261
Taille (mm)	600 x 540 x 261
サイズ	600 x 540 x 261

* **Note 1:** Recommended for connection to inputs with input impedance >20KΩ

* **Nota 1:** Se recomienda conectar a entradas con impedancia superior a 20KΩ

* **Hinweis 1:** Empfohlen für Inputs mit einer Eingangsimpedanz >20KΩ

* **Note 1:** Recommandée pour une impédance d'entrée supérieure à 20KΩ

* **注1:** 接続する入力の推奨インピーダンス >20kΩ

* **Note 2:** Recommended for use with line level equipment (i.e. rack processor etc.)

* **Nota 2:** Se recomienda utilizar con equipo con nivel nominal de línea (como procesadores de rack, etc...)

* **Hinweis 2:** Empfohlen für die Benutzung mit Equipment auf Linepegel (z.B. Studioeffektgeräte etc.)

* **Note 2:** Recommandée pour des niveaux de ligne de type processeur d'effets en rack.

* **注2:** 接続機器 (ラックプロセッサなど) の推奨ラインレベル

Keep these instructions • Conserve estas instrucciones • Bewahre diese Bedienungsanleitung gut auf.
Conservez toutes ces instructions • この取扱説明書は保存してください。

English

CE - **EUROPE ONLY** - **Note:** This equipment has been tested and found to comply with the requirements of the EMC directive (Environments E1, E2 and E3 EN 55103-1/2) and the Low Voltage directive in the E.U.

EUROPE ONLY - **Note:** The Peak Inrush current for the AS100D is 21 amps.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ◆ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ◆ Increase the separation between the equipment and the receiver.
- ◆ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ◆ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Español

CE - **SÓLO PARA EUROPA** - **Nota:** Este equipo ha sido examinado y se ha comprobado que cumple la normativa EMC (Apartados E1, E2 y E3 EN 55103-1/2) y la normativa de Baja Tensión de la U.E.

SÓLO PARA EUROPA - **Nota:** La corriente de pico en el encendido del AS100D es de 21 amperios.

Nota: Este equipo ha sido examinado y calificado como aparato digital de Clase B, de acuerdo con la parte 15 de la normativa FCC. Esta calificación fue definida para garantizar una protección razonable contra interferencias en una instalación doméstica. Este equipo genera, utiliza y puede radiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y utiliza de acuerdo con las instrucciones, puede producir interferencias indeseadas a las radiotransmisiones. De todas formas, no hay una garantía total de que no ocurran interferencias en ciertas instalaciones. Si este equipo produce interferencias perjudiciales a la recepción en aparatos de radio o televisión, lo cual se puede deducir observando el efecto al encender y apagar el equipo, se sugiere al usuario que intente corregir estas interferencias siguiendo una o varias de las siguientes medidas:

- ◆ Reorientar o reubicar la antena receptora de la radio o televisión.
- ◆ Aumentar la separación entre el equipo y el aparato receptor.
- ◆ Conectar el equipo en un enchufe de un circuito de alimentación distinto de aquel al que va conectado el receptor.
- ◆ Consultar con el vendedor o con un técnico experto en radio y TV.

Deutsch

CE - **GILT NUR FÜR EUROPA** - **Hinweis:** Dieses Gerät entspricht den Anforderungen der EMC Richtlinien (Anlagen E1, E2 und E3 EN 55103-1/2) und den Anweisungen für Niederspannung der E.U und wurde entsprechend getestet.

GILT NUR FÜR EUROPA - **Hinweis:** Die Stromspitze beim Einschalten liegt beim AS100D bei 21 Ampere.

Die entsprechenden Grenzwerte stellen einen ausreichenden Schutz vor störenden Interferenzen beim Gebrauch im Wohnbereich sicher. Dieses Gerät generiert und arbeitet im Radiofrequenzbereich und kann eine entsprechende Strahlung aussenden. Wird das Gerät nicht entsprechend den Bedienungsanweisungen benutzt, so kann es zu Störungen beim Empfang von Radio- oder TV-Signalen kommen. Es ist grundsätzlich nicht auszuschließen, daß es bei einigen Anwendungen zu derartigen Störungen kommen kann. Sollte dies einmal der Fall sein (zur Überprüfung sollte das Gerät an- und ausgeschaltet werden) so schlagen wir die folgenden Lösungsansätze vor:

- ◆ Positioniere die Empfangsantenne anders.
- ◆ Vergrößere den Abstand zwischen dem Verstärker und dem Empfangsgerät.
- ◆ Benutze einen anderen Netzanschluß für beide Geräte.
- ◆ Konsultiere einen Händler oder geschulten Radio-Fernsehtechniker.

Français

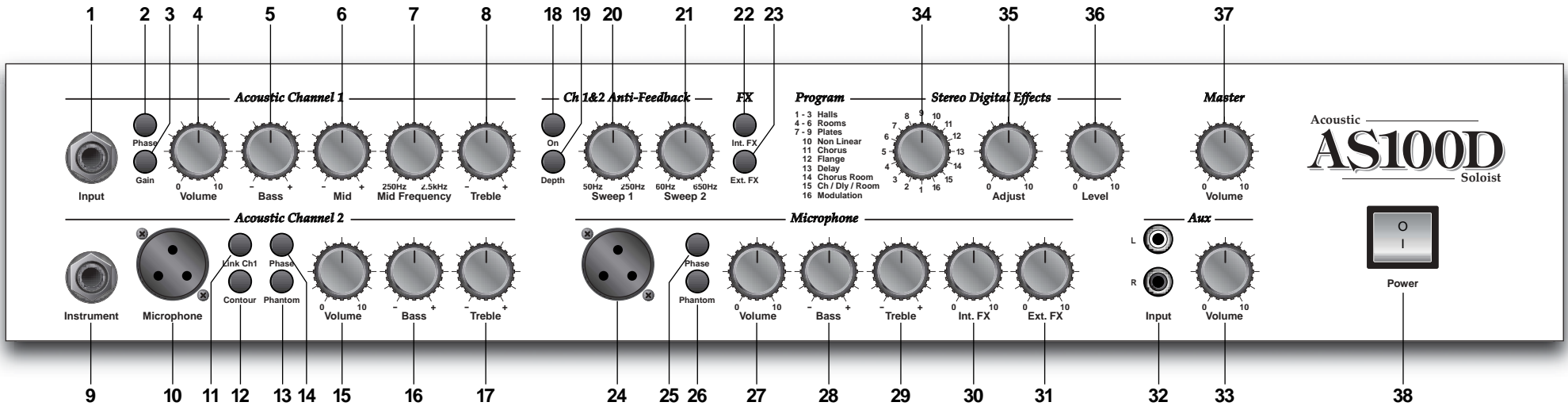
CE - **EUROPE UNIQUEMENT** - **Remarque:** Ce matériel a été testé: il est conforme aux directives européennes EMC (Environnement E1, E2 et E3 EN 55103-1/2) et aux directives sur les appareils basse tension.

EUROPE UNIQUEMENT - **Remarque:** La consommation en crête du AS100D est de 21 ampères.

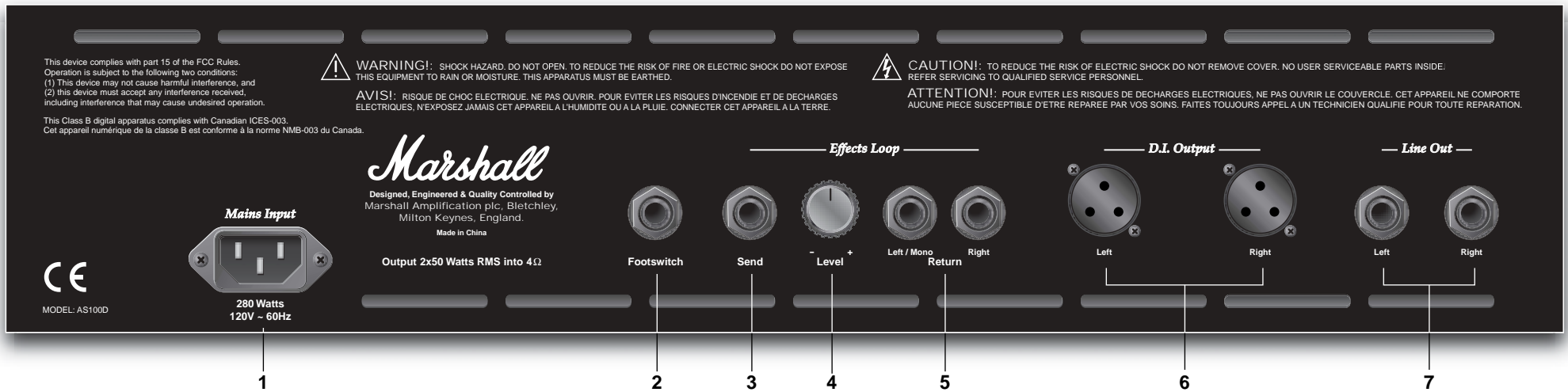
Note: Cet équipement a été testé et approuvé conforme aux normes fédérales sur les appareils numériques de Classe B selon la résolution fédérale américaine. Ces limites sont désignées pour fournir une protection raisonnable contre les interférences en installation résidentielle. Cet appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radio et, en cas d'installation ou d'utilisation différente de ce qui est préconisé dans ce mode d'emploi, il peut entraver la bonne réception des équipements de télévision ou radio avoisinants. Cependant, nous ne pouvons garantir l'absence d'interférences selon l'application utilisée. Si cet appareil est source d'interférence (vérifié en plaçant l'appareil sous ou hors tension à plusieurs reprises), nous vous encourageons à appliquer l'une des mesures suivantes:

- ◆ Réorientez ou déplacez l'antenne de réception.
- ◆ Augmentez la distance entre l'appareil et le récepteur.
- ◆ Connectez le matériel sur une ligne secteur différente de celle du récepteur.
- ◆ Consultez votre revendeur ou un spécialiste TV/Radio.

AS100D Front Panel



AS100D Rear Panel



AS100D Block Diagram

